

茨城県立水戸南高校・通対 京都府立朱雀高校

■試合時間 1時間50分 ■備考 7回コールド

[illegible]

■ バッテリー

捕手
騎馬龍吾

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
木 村 公 紀	7	30	5	6	4	1

■ バッテリー

捕手
工 藤 匡 祐

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
坏 祐 太	7	34	11	5	1	3

1回戦葛飾スポーツセンターの第2試合は、8年連続13回目出場の茨城県代表・県立水戸南高校通信制と2年ぶり12回目出場の京都府代表・府立朱雀高校の対戦となった。水戸南は初回一死から2番中野が二塁打を放つと続く3番立花の中前適時安打で1点を先制する。初回に三者凡退に抑えられた朱雀は2回先頭の4番騎馬が安打で出塁すると手堅く懐打で送り7番池田の中前適時安打で同点に追いつくと3回3番松川の適時安打などで3点を勝ち越す。水戸南は2回3回と得点圏に走者を進めたが打撃がつながらず得点を上げられない。朱雀は4回一死三塁の好機に8番木村が投前にスクイズを決め1点を追加すると5・6・7回と小刻みに試合終了9ー1と点差を広げる。追い込まれた水戸南は7回裏二死から1番高橋が安打で出塁し2番中野が死球でつなぎ好機を作るも後続が断たれ試合終了。隙のない攻撃で2回以降得点を奪った朱雀が7回コールド9ー1で勝利した。一方敗れた水戸南は5回以後毎回出塁するも8塁塁と攻撃の決め手欠き初回の1点のみで終わったのが何と悔やまれる結果となった。